

# Instability in Social Dilemma Games: Experimental Evidence

著者	FENG Jun
year	2018-03
学位授与機関	高知工科大学
学位授与番号	26402甲第326号
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10173/1873">http://hdl.handle.net/10173/1873</a>

氏名(本籍)	Feng Jun (中国)
学位の種類	博士(学術)
学位記番号	甲第326号
学位授与年月日	平成30年3月19日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻
学位論文題目	Instability in Social Dilemma Games : Experimental Evidence

論文審査	(主査) 高知工科大学	教授	上條 良夫
	高知工科大学	教授	西條 辰義
	高知工科大学	教授	小谷 浩示
	高知工科大学	准教授	小林 豊
	高知工科大学	教授	全 卓樹

## 審査結果の要旨

### 1. 論文の評価

申請者は、社会的ジレンマ問題の本質的な不安定性に関する一連の実験研究について報告をした。申請者は、社会的ジレンマの典型例として知られる自発的公共財供給問題に関する実験研究に加えて、先行研究のコモنزの実験のデータを用いたシミュレーション分析を実施し、当該問題を網羅的に扱った。実験から得られた結論は、動的システムが安定な性質を兼ね備えている時と不安定な性質を兼ね備えている時で、実験参加者の意思決定ルールが異なっている可能性があるということである。興味深いことに、その結果、たとえシステムが不安定なケースであったとしても、本来理論が想定していたよりも人々の行動は安定していた。

審査意見としては、内的妥当性を高めた実験室内の現象に関する研究としては高い水準にあり、学位を与えるには十分であると考えられる一方で、本研究の外的妥当性については今後検討が必要であるというものであった。例えば生物学や生態学の分野では、特定の種の個体数の増減などを観察している。それに相当するような事例を探し出し、検討していくことが当該研究の価値をさらに高めると考えられる。

### 2. 審査の経過と結果

- (1) 平成30年1月10日 博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定し、5名がその審査委員として指名された。
- (2) 平成30年2月16日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 平成30年3月6日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。